

輝く未来

学校だより
令和7年11月28日
11月号
中種子町立野間小学校

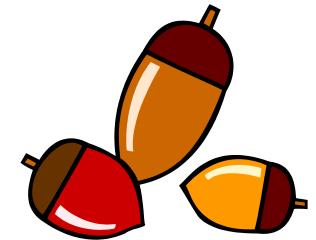


↑ホームページ更新中
ぜひ御覧ください

子供たちは地域で育つ

校長 吉國 耕二

間もなく12月に入り、2学期も残り少なくなっていました。



11月には、多くの地域行事があり、それに参加する子供たちの笑顔や必死に頑張る姿など多く見ることができ、とてもうれしい気持ちになりました。PTA（保護者）によるバザーや親児の会によるお化け屋敷など計画から準備、運営まで御協力いただきました保護者の方々に感謝申し上げます。子供たちの笑顔や楽しむ様子が多く見られました。また、農林漁業祭や町文化祭、町駅伝競走大会、種子島相撲大会など本校の子供たちが活躍する姿があり、地域での活動を通して、子供たちが成長していると感じました。

さて、県では11月を「郷土（ふるさと）に学び・育む青少年運動」強調月間として設定しています。これは、鹿児島の古くからの伝統である地域で青少年を育てる気風を盛り上げ、郷土に根ざしたグローバルな人材を育成するために、地域ぐるみの青少年育成を推進していくことです。最近、「地域で子供の遊ぶ姿や声を聞く機会が少なくなってきた」という声をいろんな所で聞きます。確かにゲーム機やスマートフォンの普及を考えると、友達と外で遊ぶ機会が少なくなってきたと感じます。以前聞いた講演の中で、子供たちの「遊びの重要性」について思い出しました。地域に子供が集まれば、何をして遊ぶか知恵を出し、創造し、ルールを作り遊ぶ。子供同士のけんかやトラブルが起こると年上の子供たちが間に入り、自分たちで解決する。集団での遊びは小さな社会であり、その体験が成長する上でとても重要だといった内容でした。また、地域行事への参加についても述べられ、地域行事に子供が参加することで、地域の大人との関わりが増えていき、子供にとっては親以外の大人と話す機会が増え、成長する過程でよい影響を与える。また、大人にとっても地域の子供を知ることで、地域の教育力が高まっていくという内容でした。



「子供は地域の宝」「人の子も 我が子も同じ 地域の子」昔からよく言われる言葉ですが、今の社会だからこそ特に大切な言葉だと思います。学校・家庭・地域がさらに連携を深めながら、地域ぐるみの青少年の健全育成を今後も進めていきたいと思います。

感染症予防対策を！

インフルエンザが全国的に流行しています。熊毛地区管内でも流行発生注意報が発令されました。これからは、空気が乾燥しインフルエンザやコロナウィルスなど様々な感染症が流行しやすい時期になります。学校では、うがい・手洗いの徹底及び換気を行い、感染予防に努めています。ご家庭でも、手洗い・うがい及び十分な睡眠など感染予防への御協力をお願いします。



思いやりの心で一人一人のよいところを見つめよう～校内人権週間～

先日の全校朝会で、人権にちなんだ話ということで時間をもらいました。そこで一人一人の「自分らしさ」に焦点をあてて子供たちと一緒に人権について考えました。「自分らしさ」というと、自分にしかできないこと、人と違った自分の独自性、自分の興味、関心といったイメージがあるかもしれません。したがって、自分らしさを発揮できる職業とは、自分にしかできないこと、自分の独自性を生かせる職業ということになると思います。子供たちに、今の自分らしさを考えさせると、自分らしさがすぐに思い浮かぶ子や、自分らしさが思い浮かばない子もいるでしょう。

実は、自分らしさには二種類あります。一つ目の自分らしさは、生まれつき自分が持っている才能です。スポーツや絵が得意であるといった、生まれつきもっている才能です。例えば、ドラえもんに登場する野比のび太は、勉強が苦手、スポーツも苦手、友達にいじめられるとすぐにドラえもんに泣きつきます。しかし、のび太君の特技は「あやとり」と「射撃」特に「射撃」の腕前は、命中精度、早打ち共にプロ級でなんと早打ちの速度は「0.1秒」。これはあの「次元大介」や「ゴルゴ13」をも上回ります。これが生まれつき自分が持っている才能「自分らしさ」です。

二つ目の自分らしさは、生まれた後の学習によって身に付く独自性です。学習によって身に付く独自性は、今の子供たちには、まだわからないかもしれません。なぜなら、学習によって身に付く独自性は、これから子供たちが長い時間かけて見つけていくものだからです。

今、自分らしさが思い浮かばない場合は、学習によって身に付く独自性を探していくべきと考えます。そして学習によって身に付く独自性は、自分でも気が付かない場合が多いです。したがって学習によって身に付く独自性を探す際に最も重要なことは、何かに取り組む際、興味がないからといって食わず嫌いをしないことです。今、興味がないからといって食わず嫌いをすると、自分の可能性を自分で狭めてしまうことになります。自分の独自性を生かせる可能性はどんな分野に潜んでいるかはわかりません。学習によって身に付く独自性を探すためには、どんな分野にでも積極的に取り組むことが大切であると考えます。そして取り組む際には、できるだけ創意工夫が必要です。実は独自性というのは取り組み方や進め方に現れるのです。

子供たちには、これから長い人生の中で、ぜひ学習によって身に付く独自性、学習によって身に付く自分らしさを見つけ出してほしいと思います。また、この人権週間を通して、子供たち一人一人がもつ「よさ」を互いに見つめ合い、認め合えるそんな仲間であふれる野間小学校となっていくことを期待しています。

読書の楽しさを味わいました ~どんぐり読書週間~

11月17日～21日はどんぐり読書週間でした。日頃からたくさん本に親しんでいる子供たちですが、特に、この期間は、「先生方の出張読み聞かせ」や図書委員会が企画した「読書ビンゴ」「読書郵便」等いろいろな企画やイベントを通して本に親しました。

様々なイベントの中で、21日は、本のお話の中に登場するメニューが給食になる「本とコラボ給食」でした。「どんぐり村のやまんばあさん」の本から、キノコの混ぜご飯、やまんば汁、焼き芋が登場し、「とてもおいしい。本を自分でも読んでみたいな」という声が聞かれ、本に対する興味関心の高まりを感じました。この読書週間、読書の楽しさを更に実感することのできた期間となりました。



【12月の主な行事予定】

2日（火）持久走大会

学級P.T.A

4日（木）校内人権旬間（～13日）

8日（月）スクールカウンセラー来校

9日（火）持久走大会（予備日）

13日（土）土曜授業

20日（土）親児の会「門松づくり」

24日（水）2学期終業式